科目名	28．臨床薬理学				
履修年次	1年次	科目区分	専門基礎分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	生体と薬物の相互作用について理解することができる				
到達目標	状況に応じた薬を適正に使用するために、薬が生体に及ぼす影響について表現することができる				
評価方法	筆記試験（100点）				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学　疾病のなりたちと回復の促進③　医学書院 系統看護学講座　別巻　臨床薬理学　医学書院				
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	「薬理学」は作用別の構成ですが、「臨床薬理学」では臨床場面毎の構成になっています。「薬理学」は抗感染症薬・免疫治療薬・心臓血管系治療薬などの分け方、「臨床薬理学」は高血圧症・気管支喘息・慢性肝炎など主要疾患に使用する薬の切り口としています。看護教育は、薬を扱う臨床現場で通用する知識と技術の習得が不可欠です。したがって、薬物治療における看護師の役割を十分理解し、薬が生体にどのような影響をおよぼすのかについて学習します。薬の種類、性質、特徴、薬物動態、薬理作用、効能・効果、使用方法、副作用、相互作用等について習得して下さい。さらに薬に関連する法令について学び、臨床で実践されている薬物治療に関する知識を習得することが重要です。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	薬理学の基礎知識①	薬物とはなにか	講義
2	薬理学の基礎知識	薬が作用するしくみ 薬の体内挙動	講義
3	薬理学の基礎知識③	薬物の相互作用	講義
4	薬理学の基礎知識④	薬物の個人差に影響する因子 薬物使用の有益性と危険性	講義
5	薬理学の基礎知識⑤	薬と法律	講義

6	対症療法の臨床薬理学①	解熱鎮痛薬 制吐薬 便秘治療薬 下痢治療薬	講義
7	対症療法の臨床薬理学②	鎮咳・去痰薬 鎮静薬 睡眠薬	講義
8	主要疾患の臨床薬理学①	高血圧症 急性冠症候群 心不全 不整脈	講義
9	主要疾患の臨床薬理学②	抗血小板・抗凝固療法 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患	講義
10	主要疾患の臨床薬理学③	胃・十二指腸潰瘍 胃食道逆流症 慢性肝炎	講義
11	主要疾患の臨床薬理学④	慢性腎臓病 透析患者における薬剤管理 糖尿病	講義
12	主要疾患の臨床薬理学⑤	脂質異常症 骨粗鬆症 関節リウマチ パーキンソン病	講義
13	主要疾患の臨床薬理学⑥	認知症 うつ病・うつ状態 てんかん	講義
14	特定の行為に関する臨床薬理学①	副腎皮質ステロイド薬 オピオイド	講義
15	特定の行為に関する臨床薬理学②	抗がん薬	講義